

文化の香りがいっぱいの一日に

～文化ふれあいフェスティバルinのぼりべつ～

12月14日(日)、登別市文化協会が主催する『文化ふれあいフェスティバルinのぼりべつ』が市民会館で開かれました。

この催しは、同協会に加盟する各団体の日ごろの活動や研修の成果を市民に知ってもらい、多くのみなさんに会員になってもらおうと、加盟団体の協力により初めて開かれたものです。

展示部門では、子ども劇場や華道、絵画、書道、写真、短歌、俳句、川柳などの作品の展示のほか、魚拓の実演も行われました。ステージ部門では、クラシックバレエや大正琴、民謡、合唱、華道吟、太鼓などが披露され、来場者は各団体の発表に熱心に見入っていました。

また、会場では、絵画や陶芸作品の即売、抽選会なども行われ、多くの市民でにぎわいました。



華道吟



展示の様子

60点の感想文・感想画が入選

～平成15年度小・中学生読書感想文・読書感想画コンクール～

12月13日(土)、市民会館で『平成15年度小・中学生読書感想文・読書感想画コンクール』の入選者表彰式が行われ、感想文と感想画を合わせて347点の応募作品の中から、60点が入選しました。

この読書感想文コンクールは、読書離れが進む中、子どもたちに読書の楽しさと大切さを知ってもらおうと、市内の小・中学生を対象に毎年実施されていますが、今年度、初めて読書感想画コンクールも合わせて行われました。

表彰式では、武田博教育長から入選した子どもたち一人ひとりに表彰状と記念品が手渡され、入選者を代表して4人が感想文を朗読。表現力豊かな作品に、会場の父兄や先生から拍手が送られていました。



美しい歌声に若かりし日々を

～細坪基佳アコースティックコンサート～

11月30日(日)、市民会館で『細坪基佳アコースティックコンサート』が開かれました。

このコンサートは、市民会館開館20周年記念事業として催されたもので、ステージに立った細坪さんは北海道出身のフォーク・グループ『ふきのとう』（平成4年解散）の元ボーカル。

コンサートは、『雨降り道玄坂』でスタートし、『思い出通り雨』『白い冬』などの『ふきのとう』時代のヒット曲を次々と披露。『風来坊』では観客も合唱しました。

フォークソングが流行した時代に青春を送った30、40歳代の方を中心に約400人の観客が、細坪さんの美しいボーカルと思い出に浸っていました。

